

OB 最前線

昭和52年度卒
安岡佳信
(有) 文芸出版社
代表取締役



私が本と係わりを持つようになったのは今から13年前の25歳の時でした。当時は私は3年間勤めた北九州の貿易会社で営業の仕事をし、出版社の営業と言っても、出版社の訪問販売で、10キロ位重さのある本を靴に詰め一日中売り歩く仕事でした。4年間この仕事をやりながらの営業の基本を見つけて行きました。成績も全国でトップクラスになり東京本社へ転勤が決まると同時に、会社を辞めました。独立したいという気持ちで、会社を辞めたものの何も出さず、訪問販売、学習塾、広告業、教材販売と色々な仕事をやりながら生活費も手回し行かず、家内にも生活費も最初一年で貯金も使い果たしてしまいました。そんな生活を4年間続けそれから資金も無いのに出版業を始めました。今度は自分で売れる本を作った。一発当ててやろうと言う香気な考えでした。



最初の1年間に単行本を3点出しましたが全く売れず返本の山。結局4トントラックで一杯廃棄するという惨憺たる結果でした。でもこれで止めたなら借金だけが残るのは明らかで今度は広告の獲得の月刊誌を考え始めました。平成2年2月外戸本を創刊しました。ところが外戸本も全く売れず自然毎月出せば出す程借金も膨らみます。結局採算ベースに乗せるのに2年半。かなりの資金を注ぎ込みました。

これからの時代みんな増々レジャーにお金を使うだろうと思いついて外戸本を考えたのです。外戸本の外戸はアウト・ドアの訳とガイドブックの掛言葉です。最近の企画人気企画は時代と共に変わっていき、創刊以来、取材や営業で山口・全九州訪問してない市町村は無いと思います。小学校の時から地理や歴史に興味を持っていないところへ行くの大好きでした。そんな自分の仕事だと思つておられます。さて外戸本は山口・北部九州の書店、コンビニエンスストア等4千箇所で販売し、毎月5千部を超えています。たぐさんの人の目に触れるので当然掲載した所への影響や読者が実際行つてみて良かったとか、逆にクレーム等沢山のお便りが寄せられます。そういう意見が本作りの羅針盤です。今後はもっと実用性を高め、今の西日本版だけでなく関東・関西版を作つて行こうと考えております。

最後に会社を運営していく上で沢山のOBの方にお世話になりました。この誌面をお借りしてお礼を申し上げます。

外戸本のお問い合わせは
〒810 福岡県東区 那珂 3-3-1
(五階第一ビル2F)
TEL (094) 032-20812

Vol. 6 発行

おとと

長崎県立大学鷗友会会報

発行 長崎県立大学鷗友会
佐世保市川下町二二三(大学内)
〇九五六一四七一五一四六

母校に県内初の 大学院開設される!

世界に通用する学問のメッカを目指し、今新たに歩きはじめた...

長崎県立大学経済学研究科は、グローバルな問題発想のできる専門的職業人、地域社会に根差した大学院および国際的に貢献しうる人材の育成の3つの基本目標のもとに本年4月より開設された。

流通学科開設平成3年4月に続いて2年後の本年4月に鈴木武学長は、大学院開設に鋭意努力され県民の期待にこたえて大学院開設を実現されたのである。しかも、流通学科志願者数の増加趨勢に続いて



大学院経済学研究科

鈴木学長の情熱が大学院開設へと花開いた...

昔とこんなに変わった 事情



味よし値段よしの平成の 学食紹介

学部増設で学生数も増え、昔とは大きく変わった生協食堂。その変貌ぶりをレポートしてみます。新しい食堂はカフェテリア形式で営業。昔は日替り定食を中心とした定食を定食食堂で、時代の流れに対応しきれなくなりそこで登場したのが、カフェテリア食堂です。カフェテリアはアメリカの大学などで育った営業形態で、食事を一皿づつに分けて好みに合わせて選ぶ方法です。



例えば

- 白身魚のムニエル+ポトサラダ+ライス ¥320
- チキン南蛮+五目煮豆+あえもの味噌 ¥320
- コロッケカレー+サラダ+スープ ¥330

思い出し楽しいかもしれませぬ。昔とは、違う住環境

現在の相場は、家賃三七、八〇〇円で光熱費がだいたい六、五〇〇円くらい。昔とは、くらべものにならないくらいモダンなアパートで設備もいろいろと整っている。そんな中で暮らす現在の学生生活はうらやましい限りの学生生活を送っています。



入学式風景と、記念パーティ学長あいさつ



崎県議会副議長長村山一正氏など政界や財界人や卒業生など100余名出席のもとに盛大に挙行された。

さらに、鈴木武学長は大学院経済学研究科修士課程の開設に続いて、平成7年4月開設に向けて大学院博士課程の新設や一般教育を改組して新学部開設や流通学科を流通学部へ昇格させることを構想させ、それらの実現に向けて鋭意努力を傾注されている。

いまや長崎県立大学は、県民の期待に応えることは勿論の世界に通用する学問のメッカを目指し、教育と学術研究のトップグループとしての役割を果たせる優れた施設と高度な研究レベルの充実を目指し将来構想の実現を着々と進めているところである。

卒業生各位の一層のご指導ご鞭撻を頂きたい。
(流通学科長 小谷正守記)

大学院開設の滑り出しも予想を遙かに超えた志願者数があり、志願者は県下はもとより県外からも注目されて極めて好調であった。因みに、本年4月施行の大学院入試には、定員12名に対して志願者が17名あり、厳しい入試選考の結果12名(学部卒業予定者3名、社会人8名、外国人留学生1名)の合格者となった。

なお、平成6年度秋季大学院生の入試は、さる10月4・5日施行されたが、志願者数は13名あり、うち5名(学部卒業予定者2名、社会人1名、外国人留学生1名)が合格した。

大学院入試は春期と秋期の年2回施行され、平成6年度春季大学院入試は来年2月実施の予定である。

去る、4月26日大学院開学式並びに入学式には、長崎県副知事柴田芳男氏、衆議院議員光武顕氏、長



今年もまた、留学生の激励の夕べが、開催された。

同窓会は終身会費で、運営されています。

本部は、今後も名簿の充実、全国各地の支部活動の支援、更には30周年記念式典へ向けての活動など、いろいろな事をやらなくてはなりません。現役学生からは、入学時に全員、終身会費(一、二、〇〇〇円)を頂いておりますが、卒業生の皆様からの納入状況は約24%となっており、今後の本同窓会の発展を願うには余りにも淋しい数字です。まだ未納の卒業生の皆様、ご理解の上同窓会費納入にご協力下さいますようお願い申し上げます。

住所変更は連絡を!!

昨年5月同窓会名簿第2刊を発行致しましたが、未だ住所の確認が取れない卒業生、変更があるにもかかわらず新住所等の連絡が事務局へ伝わらない卒業生が多数おられる様です。自分の名簿であるだけでなく、友人にとつての名簿でもありません。

変更の際は必ず、各支部長又は大学事務局へご連絡下さい。

●長崎県立大学鷗友会事務局

お問い合わせ

卒業生の皆さん支部からの出欠ハガキ等は必ず返信して下さい。ちよつとした心掛けが同窓会を応援しています。

0120-47-9044

●留守番電話を導入しています。不在の時でもメッセージをいれてください。

